

5.

私の英語教育：聞いてわかる英語を先に学習する

ジョン万次郎式英語：カナで音を表現

自分で音を考えてカナで書いてみる（音を考える英語学習法）

小澤昭弥（前東北大学教授・滞米 30 年）

A 日本人の英語学習は、書いてある単語を見ながら発音を聞くから、正しく掴めないのです。下の英語はどう聞こえるでしょうか？

	(A)スペル式発音	(B)聞こえた発音
(1) Nickel	ニッケル	ネコ、ニクウ
(2) ultra	ウルトラ	アウツ、アウツラ
(3) pulse	パルス	パウス
(4) apple	アップル	アポウ
(5) vinyl	ビニール	ヴァイニウ
(6) gel	ゲル	ジェウ
(7) golf	ゴルフ	ゴウフ
(8) diesel	ディーゼル	ディースウ
(9) Hepburn	ヘップバーン	ヘボン
(10) Donald	ドナルド	ダーナウ(ド)

文字を見ないで、何回も聞いて、聞こえた音をよく考えてそのままカナで書くと、(B)のようになる。これが本当の英語発音です。

[ネコ]を日本語の通りに“猫”と同じ発音をすると、アメリカ人は nickel と聞きとってくれます。

B ジョン万次郎式発音とは、英語をまったく知らない人がスペルを見ないで、発音を聞いてカナで書くと、どうなるかという実例です。

John 万次郎式

1. Eight	[エイ]
2. Night	[ナイ]
3. Long	[ロン]
4. Going	[ゴイン]
5. Water	[ワタ]
6. Stocking	[シタギ]

上の A、B から発音の要点をまとめると、

- (1) “L”を[ル]と言わずに日本語で小さい声で[ウ]と言うと、日本人の“ウ”は、小さい音で声帯もほとんど動かないので誤解されない。Pulse [パウス]、gel [ジエウ]、golf [ゴウフ]など。
- (2) “最後の子音” t や d は子音で、声帯は震えていない、音になっていることが多い。空気を出すときのカスレ音、ほとんど聞こえない。聞こえないものは、全く発音しないと決めたほうが外国人には通じやすい。Night [ナイツ] と eight [エイツ]、going [ゴーイン]、Donald [ダーナウド] の t や g や d は全く発音しないほうが通じやすいことが多い。
- (3) “音節の数”が通じるかどうかの大切なポイントになる。

Hepburn は2音節に、Hep と burn の2音節と考えて、ヘップ ポーン と2音節にすると通じます。ヘ ポーン と言うと2音節ですから、一応通じるのですが、ヘップバーンではとても通じません。ヘボン式ローマ字つづりと昔から日本で言われています。日本語でヘボンとなってしまう。

C 音節の数とアクセントは、発音に通ずるかどうかの大切なポイントです。

日本語を外国人に教えるとき、東京 にカナをつけて トウキョウ とつけたカナを発音させても、正しく東京の地名にはなりません。

[トウ キョー]と2音節に言うと外国人がよく日本人に [ト キョー]と、TO KYOと2音節に言っているのを聞くとそのことが日本人にはなるほどと分かっていただけだと思います。

D ソニーの技術者に英語を教えてくださいと、井深さんに頼まれて、私がアメリカで2週間行った英語教育、ソニーのアメリカのカラーテレビ工場働く人 20 名に行った英語教育をここに書いておきます。

(1) アメリカ化学会から買った「環境上の内容の英語テープ」(いろいろな分野の技術・環境・その他)をテキストを渡さずにテープを1本ずつ渡して、最初から20分のところまでを毎日20～30回聞いて、2～3秒毎にテープをとめ、聞こえた発音をカナで書きとめ、その英単語がわかるときには、それもスペリングで書きとめてもらいました。同じテープを毎日数時間、何十回も聞いて、その言葉が何のことか理解できたのかどうかに関係なく、聞こえた通りの音をカナで書いてもらったのです。このようにして英語の音を、日本語で書くとどうなるかをしっかり体験してもらいました。聞こえた音は、日本語の何に近いかを考えてもらうことにより、英語の音を身につけることができます。

(2) 2週間目に入りテキストを渡して、その英語の書けなかったところを書きいれてもらいました。これでだいたいの英語のスペリングがどんな音となってくるかがわかるようになってもらって、アメリカの工場でも働いてもらいました。

E

自分に必要な用語と文章の発音学習

ある大会社の部長さんが、2週間後に外国へ行き、特許について売り込みをしたり、必要に応じて買付をしたりすることになり、そのため英国人の女性から毎日2時間、特訓をうけているとのことでした。その人が使っているテキストをみて、私は「これではだめですから、あなたの分野の英文特許公報の短いもの2～3頁を一つコピーしてください」と英文特許の2～3頁をコピーしてもらい、英国人の女性に内容がわからなくてよいから、「その公報をゆっくり2～3語で切って読みあげてテープに吹き込んでください」と言ってテープに録音してもらいました。部長さんにはそれを何回も聞いて、発音をまねて、文章にし、日本語に直すことをしてもらいました。また英文を3回書き写してもらいました。

この学習の要点は、その人が必要とする内容の英語の発音をズバリ聞いてもわかるようになってもらうことが目的です。自分に必要のない、一般的なテキストやテープをいくら使っても、“その人”に役立つ英語にはならないと言うことです。日本の小中学校の英語テキストも、海外の小中学生と話し合う子どもの内容のテープをつくり、これを使用してもらいたいと思います。

F

知りたいことをどうして知るのか？

香港などで安いものを見つけ、日本で売れそうかどうか知りたいと、「いくらですか？ How much is this?」と聞いても、1個の値段しか言ってくれません。こんな時私どもが本当に知りたいのは、200 個位または、1000 個位でいくらということです。このため答えをもらうには、書いた答をホテルに入れてもらうようにしてください。

“We plan to sell this in Japan. How much do you charge for 1000 pieces for this? I am in ×× hotel, Room 202 for 3days. Please send the price in writing and send it to my room by fax.”
としておいてファクシミリで送ってもらおうと、だいたいの値段がわかります。その後は値引き交渉です。日本で販売して利益になる値段で買えるかどうかの問題ですので、その目的を達する値段の聞き出し方と交渉をすることが必要です。

G 日本の大学と日本化学会における 10～15 年間の私の英語講義

東京理科大学やその他の日本の大学の英語教育を頼まれ、毎年1～2回日本化学会で、長哲郎教授(当時東大助教授、後に東北大学教授)を司会者とする、技術者用の英語の講義をしました。あとで、日本化学会の職員の人々にも英語講義をしました。今年は、私がアメリカの大学と会社での仕事から退職してもう35年になりますが、2～3の大学から、「まだ先生は英語の講義をしてくれますか？」と電話が時々あります。「なぜ私に？」と聞くと、「昔、東京理科大で先生の英語の講義を受けた者ですが、それと同じ講義をしてくれる先生が日本にはいないので連絡しました。やっていただけますか？」とのことでした。私の講義が役に立ったと聞いて、昔やっていた私の教育がよかったのかと、今さらのように喜んでいます。

H 書く英語の添削サービス(論文英語)

日本人の研究者も、大学院生も、英語で論文や卒論を書く時代になりました。指導教官が学生の英語をしっかり訂正してくださるとよい

のですが、多忙で忙しい3月の卒業時に近い頃には、とても数人の論文の英語までしっかりと見られないのが実情です。内容を見て、卒業させるので時間一杯です。

私どもは、30年前に、アメリカ人技術者で英語の論文を訂正できる実力のある人々(特許係など)に頼んで、10~15頁の論文を約1万円位で訂正するサービスをはじめました。これは現在でも続いています。2、3の日本の雑誌に2頁の広告をこの雑誌の最後の2頁のように出しています。理工系の英語論文をしっかりと学習させることのできる文化系の英語の先生が沢山おられないのも、現状です。英文法上の誤りは、訂正して下さるでしょうが、内容にぴったりの添削はとても無理なことです。しかし、現実には、英文添削は英語事業会社(翻訳会社)などで行われているのが実情です。こんな添削で日本の研究者の英文がまともになることは、困難と思っています。

本文の内容は、2枚のCD付の下記のテキスト(55頁の本)に出ています。CD付きで3500円です。注文は、〒453-0013 名古屋市中村区亀島 2-15-19-206号(ITE愛知オフィス)へ。

技術国際化時代の英語

耳からの理工英語

聞いてわかる、話すのに使える理工・医療系英語の新しい教育法を目ざして

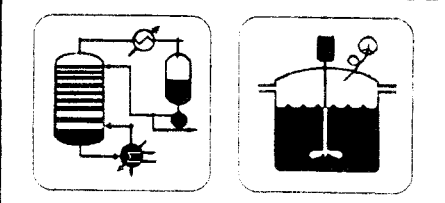
改訂版

Vol. 1. **発音と短文**
CD 2枚付 (定価 3500円)

編著者 鈴木喜隆・金森志雄・佐藤 厚
小沢昭弥・鈴木英次・H. M. Friend
山下正通・長 哲郎・J. C. Nardi

企 画 国際技術交流協会・英語教育部会

今日の勉強が君の将来を決める
What you do today will determine your future.



英語による発表のための発音練習とよい英文を書くための必須の句と短文を発音の調子と共に身に付けるためのテープです。